

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（中学校用）

都道府県名	三重県
-------	-----

I. 学校の概要（平成15年4月現在）

松阪市立東部中学校						
	1年	2年	3年	「障害」児学級	計	教員数
学級数	4	5	4	1	14	29
生徒数	155	169	142	1	467	

II. 研究の概要

1. 主題（テーマ）

互いにみがきあい、高まる生徒づくり
 ——よりよい集団づくりのもとに、生きる力を培う授業づくり——

2. 内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年、全教科、全領域で実施している。

「学力」とは、生徒一人一人が、目標をもって生きるための力である。
 本校では、昨年まで生活課題をかかえる生徒「核にしたい生徒」を中心に据えた学級集団づくりの取り組みを研修の大きな柱として推進してきた。
 これまでの「人権・同和教育」の取り組みの経緯や成果を生かし、全学年、全教科、全領域において、集団づくりをもとにした授業づくりの実践を推進し、生徒の学びを保障する研究に取り組んでいる。

(2) 年次計画

平成14年度

- テーマ
 「互いにみがきあい、高まる生徒づくり ——よりよい集団づくりのもとに、生きる力を培う授業づくり」
- 仮説
 生徒の学習意欲や関心を高めるため、年間指導計画（カリキュラム）や学習指導案、評価基準表を作成し、これまでの授業内容や指導方法を見直す。
- 研究内容・方法
 - ① 年間指導計画（カリキュラム）、学習指導案、評価基準表を作成する。
 - ② 「学力」について議論し、本校の目指す「学力」について共通認識を深める。
 - ③ 各教科で、学力向上に向けた具体的な取り組みを始める。
 - ④ 全ての教科で、授業研究や公開授業を実施する。
 - ⑤ 他校の研究発表会に参加する等して、先進校での取り組みに学び、授業実践に役立てる。

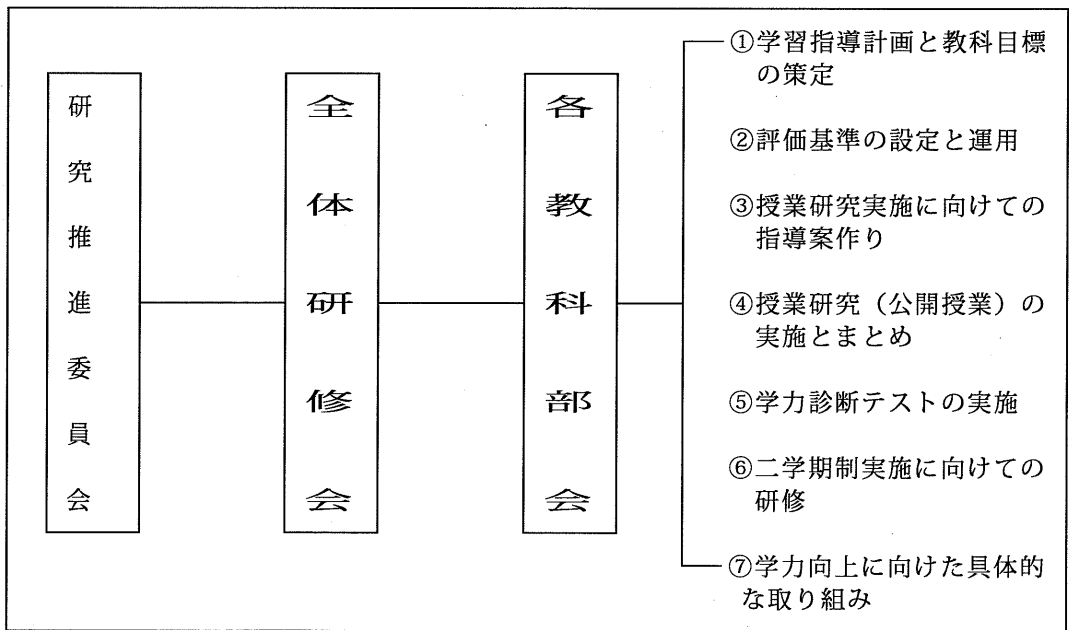
平成15年度

- テーマ
「互いにみがきあい、高まる生徒づくり —— よりよい集団づくりのもとに、生きる力を培う授業づくり」
- 仮説
昨年度の研究をさらに進め、生徒どうしが積極的に意見を交わし合い、体験を通して高め合える授業を構築する。
- 研究内容・方法
 - ① 少人数授業やチームティーティングなど、新しい授業形態の研究を進め、実践を深める。
 - ② 生徒の興味や関心が高まるような、資料や教材の開発。
 - ③ 教材研究や授業検討会を通して、授業技術を高める。
 - ④ 深まりのある授業づくりを推進するために、授業の組み立てにこだわり、教科部会ですりあわせをする。

平成16年度

- テーマ
「互いにみがきあい、高まる生徒づくり —— よりよい集団づくりのもとに、生きる力を培う授業づくり」
- 仮説
学習の中での発見やこだわりを大切に、課題解決に向けて、自分たちで様々な発想や知恵やアイデアを出し合い、生徒たちが「わかった」「できた」「楽しい」と実感できる授業を創造する。
- 研究内容・方法
 - ① 授業の中で、自己表現力を高める指導を工夫する。
 - ② 授業検討会を積み重ね、生徒の変容を確認しあう。
 - ③ 授業の中で、生徒たちの自己評価、及び他者評価能力を高める活動を取り入れる。
 - ④ 授業の中で、協同学習を取り入れて、授業の雰囲気盛り上げたい。

(3) 研究体制



Ⅲ. 平成15年度の成果と課題

○成果

- ① 「朝の10分間読書」を実施して、読書の習慣を身につけることができた。
- ② 計画的に公開授業を実施し、授業改革に取り組むことができた。
具体的な生徒の姿や活動を通して授業研究会を実施することができた。
- ③ 授業時間の確保を目指し、二学期制の実施に向けて研修を進めることができた。
- ④ 二学期制に向けて、年間指導計画（カリキュラム）、評価基準表を作成し、それに基づいて学力向上に向けての具体的な取り組みを進めることができた。
- ⑤ 教科部会を中心にして、各単元別の具体的な評価活動の見直しを図ることができた。
- ⑥ 教科部会を中心にして、授業で使用する教材を作成したり、発掘したりすることができた。
- ⑦ 英語・数学を中心にして少人数授業など、様々な授業形態の研究を進めることができた。

○課題

- ① 教科の学習と総合的な学習との、つながりや関わりについて整理して取り組むことができなかった。
- ② 数学と英語において、T Tや分割授業に取り組んでいるが、一部の学年のみで、教師の人数不足のため、全ての学年で実施することができなかった。
- ③ 教科部会の時間をしっかり保障することができず、夜遅い時間まで会議を持つことになってしまった。
- ④ 評価活動について、全体で時間をかけて研修できなかった。

Ⅳ. 学力把握のための学校の取り組みについて

- ① 学力調査（CRT）を実施している。（12月）
- ② 「学校生活に関するアンケート」を実施し、生徒の学習に対する意識や実態を把握している。（5月）

Ⅴ. フロンティアスクールとしての成果の普及について

1月22日（木）東京大学の佐藤 学先生を講師に招き、授業研究会を実施した。市内はもとより、各地からたくさんの先生方に参加していただいた。

東部中学校のこれまで積み上げてきた授業の一端を参観いただき、共に授業作りについて研究を深めることができた。

来年度の授業研については、まだ未定であるが、東京大学の佐藤先生をお招きしての授業研究会を10月14日（木）に実施する予定。

【継続校】 14年度からの継続校

【学校規模】 13～15学級

【指導体制】 少人数指導、T・Tによる指導
習熟度別指導

【研究教科】 全教科

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 無